

チャペル週報

No.6

2019.5.20 ~ 5.24

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、
一粒のままである。

だが、死ねば、多くの実を結ぶ。

(ヨハネによる福音書 12章 24節)



ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

5月20日(月) 神 説教学演習A 浅尾 勝哉(神学研究科M2)
経 経済と人間① 新海 哲哉(経済学部教授)
人 林 直也(人間福祉学部教授)
理 前川 裕(宗教主事)
聖和 聖書物語「ささげもの」

5月21日(火) 神 ハンドベルの演奏による音楽礼拝
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 音楽チャペル ゴスペルクワイア"P.O.V."
法 音楽チャペル グリークラブ
経 舟木 譲(宗教主事)
商 宗教総部・邑久光明園活動報告
国 音楽チャペル 聖歌隊
理 竹ヶ原 政輝(日本キリスト教団 高の原教会牧師)
総 小西 尚実(総合政策学部准教授)
教 春の教育学部開設10周年記念チャペル 今津屋 直子(教育学部長)

5月22日(水) 神 クリスマンとしての私⑦ 井上 智(神学部助教)
社 熊本地震現地ボランティア活動参加学生による報告
法 Carol Sack(アメリカ福音ルーテル教会宣教師)
商 音楽チャペル 聖歌隊
人 池 埜 聡(人間福祉学部教授)
理 音楽チャペル グリークラブ
総 村瀬 義史(宗教主事)
教 菅原 伸康(教育学部教授)

5月23日(木) 神 ウェスレー回心記念日礼拝 水野 隆一(神学部教授)
文 宗教総部によるチャペル(邑久光明園訪問)
社 大学での学びとは① Timothy O. Benedict(宣教師)
法 宗教総部
経 音楽チャペル ハンドベルクワイア
商 山本 俊正(宗教主事)
国 Chapel in English Eun Ja Lee(宣教師)
聖和 舟木 譲(関西学院院長)
総 今西 祐介(総合政策学部准教授)

5月24日(金) 院 大宮 有博(法学部宗教主事)
神 加納 和寛(神学部准教授)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 経済学と聖書② 井口 泰(経済学部教授)
人 音楽チャペル ゴスペルクワイア"P.O.V."
理 前川 裕(宗教主事)

◇ランパス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40
5月24日(金) 総合政策学部のために

ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
古川 靖洋(総合政策学部長)

落語に人生を懸ける関学生

島 貫 香代子

2017年4月に商学部に着任してから2年間、チャペル委員として毎週1回、チャペルアワーで『チャペル週報』を出席者に配布した。これがきっかけで、関西学院の内外で活躍する様々な方々の存在を知ることができた。今回は、昨年秋に行われた、甲山落語研究会の四笑亭笑音くん（芸名）による「落語チャペル」を紹介したい。

このとき笑音くんが披露したのは「火焰太鼓」。今年の大河ドラマで語りを務める古今亭志ん生の十八番であり、古今亭のお家芸の噺と言われ、他の一門の噺家はほとんど手を付けないと聞く。そんな重要な演目を笑音くんがやってもいいのだろうか…という私の心配をよそに、彼は堂々と熱演した。あまりの熱演で、彼が上半身すべてを使って表現するたびに、長テーブルをつなげて即席で作った高座はギシギシと揺れ、彼が高座から転げ落ちるのではないかと私は別の心配を募らせた。

ヒヤヒヤしながら笑音くんを見守っていた私だが、次第に「火焰太鼓」の世界に引き込まれていった。物語の筋は単純でわかりやすく、それだけに噺家の力量が問われる演目である。笑音くんの熱演に、最初はざわついていた他の出席者もじっと聴き入り、商学部チャペルは不思議な一体感に包まれた。しまいには、彼の背後に見える、チャペルの講壇後ろにかけてある典礼パナーの“Thy Will Be Done”という聖句までもが落語の一部であるかのように感じられるほど、すべてが奇妙に一体化していた。

終わった後、笑音くんに少し話を聞いた。当時4年生だった彼は、卒業後、プロの落語家を目指すと言う。学生落語で好成績を取めたようだし、一筋縄ではいかないだろうけれど、がんばってほしい…と余韻冷めやらぬぼんやりした頭で私は考えた。

笑音くんが出るというので、このあいだの春休み、神戸新開地の喜楽館で行われた「関学かぶと寄席」に足を運んだ。彼の演目は、昨年某テレビドラマでも取り上げられた「死神」。相変わらずの熱演である。このときの彼も卒業後の抱負を語っていたが、揺るがない決意を知った私は、商学部チャペルの“Thy Will Be Done”を思い出していた。「御心が行われますように」という意味のこの聖句を笑音くんに贈り、前途を祝したい。そして、近い将来、寄席で彼の落語を再び聴けるのを楽しみにしている。

(商学部准教授)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

- 5月23日(木) 関西学院バロックアンサンブル
 - 5月27日(月) 関西学院交響楽団 弦楽アンサンブル
 - 5月29日(水) 関西学院ゴスペルクワイア
 - 5月30日(木) 関西学院大学混声合唱団エゴラド
 - 6月3日(月) 関西学院交響楽団 管楽アンサンブル
 - 6月5日(水) 関西学院大学応援団総部 吹奏楽部
 - 6月6日(木) 関西学院ハンドベルクワイア
- いずれも12時50分～13時20分
ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
主 催:宗教センター・宗教音楽委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。【どなたでもご自由にご参加ください。】
(17:50～18:20 1405教室)

- 5月主題:「イエスに従う生き方とは」
- 5月23日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)
 - 5月30日(木) 山本 俊正(宗教総主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝のご案内

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。どなたでも(クリスチャンでなくても)参加できますのでどうぞお越しください。
5月26日(日) 10:00～11:00
関西学院会館ベーツチャペル

●オルガン音楽の泉 2019 Spring semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

- 第31回 5月31日(金) 西山 聡子(本学オルガン講師)
- 第32回 6月17日(月) 高橋 聖子(同志社女子大学嘱託講師)
- 第33回 7月10日(水) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]
ところ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)
主 催:宗教センター

◆CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。